



2019 年報



東邦大学 大森病院 がんセンター
医療センター

目次

ご挨拶

病院長ご挨拶	1
がんセンター長ご挨拶	1

組織図

がんセンター組織図	2
-----------------	---

部門紹介・統計

化学療法センター	2
放射線治療部門	3
緩和ケアセンター	3
がん相談支援センター	4
情報管理部門	4
がんリハビリテーション部門	5
がん口腔機能管理部門	5

がん登録データ

部位別登録件数	6
地域別受診割合	7
6大がん初回治療別割合	7

資格

がん領域関連の専門医療者資格	8、9
----------------------	-----

業績

がん領域関連の英文論文	10、11
がん領域関連の科学研究費	11

がんサロン	12
-------------	----

当院におけるがん生殖医療のご案内	13
------------------------	----

病院長ご挨拶

～東邦大学医療センター大森病院におけるがんセンターへの期待～



質の高いがん医療を提供し、また患者さんやご家族にも地域で連携して支援できるように、がん診療連携拠点病院が設置されており、東邦大学医療センター大森病院もがん診療連携拠点病院として認定されています。多様化する患者さんの社会的背景や病気への向き合い方に対応できるように、大森病院では各診療科に任されていたがん診療を俯瞰し、包括的な医療を提供するためにがんセンターが設立されました。多職種で検討会（キャンサーボード）を開催し、それぞれの患者さんに最適な治療法を決定し、栄養や感染予防、さらに生殖機能や治療後の就労などに細心の注意を払い治療しています。がん患者さんの生存率は大きく向上し、身体機能や仕事の専門性に配慮した治療法を選択肢とすることができるようになってきました。心理社会的な不安を抱える患者さんに寄り添い共に考え、常に次善の選択肢も提供できるユニットとして、がんセンターに大きな期待を寄せています。大森病院は診断から治療、社会復帰までがんセンターを中心に、がん患者さんを長期にわたり支援して参ります。年報に示された数字の背後にある、スタッフのがん診療に対する強い想いを感じていただければ望外の喜びです。

東邦大学医療センター大森病院

病院長 瓜田 純久

がんセンター長ご挨拶



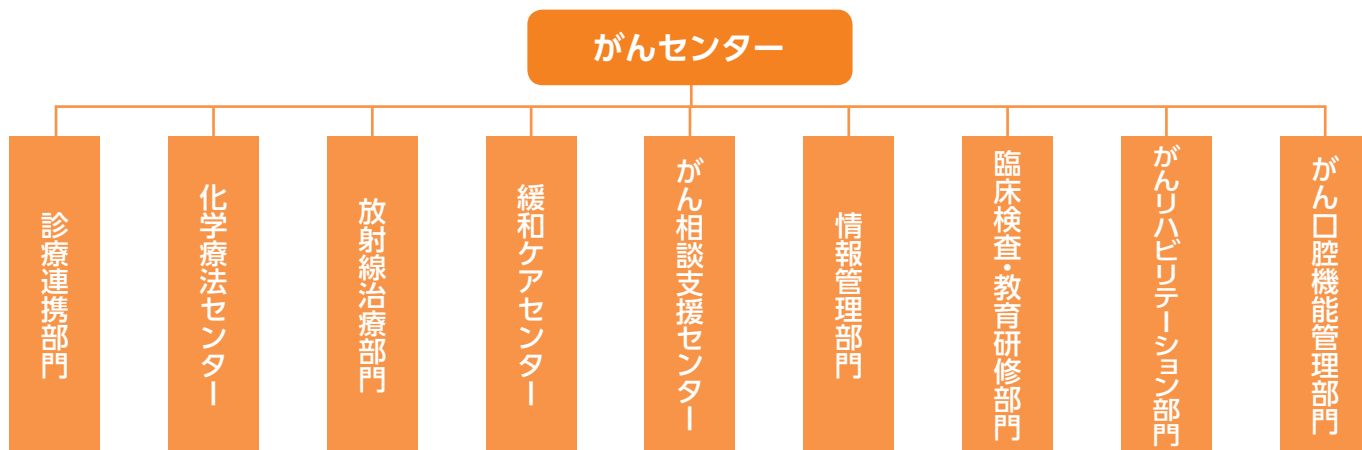
東邦大学医療センター大森病院は、がん患者さんにとっての地域医療の最後の砦であり、がん関連疾患の3次救急を含めたあらゆるがん患者さんに対応できるように診療体制を整えています。平成22年に東京都認定がん診療病院に認定され、平成24年には地域がん診療連携拠点病院に認定されています。平成26年1月には大森病院がんセンターを設立して、年間2,500名前後の新規のがん患者さんを受け入れています。大森病院がんセンターでは、診療科の枠組みを越えて、化学療法、放射線療法、手術・周術期包括的管理体制、緩和治療のさらなる充実に努めております。

がん診療は外来・入院を通して、複数の診療科の連携のみならず多職種の密接な連携の重要性が高いため、医学部、看護学部、薬学部、理学部、健康科学部の5学部を有する東邦大学としての特色を最大限活かして、専門性の高いがん診療を行っています。また、地域医師会の先生方との連携をより密にして、患者さんやご家族にとって初診時から治療後のフォローアップまで切れ目のない良質のがん診療を提供することを目指しています。がんセンタースタッフ全員が一丸となって、皆様のお役に立てるように、地域密着型の高度ながん診療を推進してまいりたいと考えています。

東邦大学医療センター大森病院

がんセンター長 島田 英昭

がんセンター—組織図

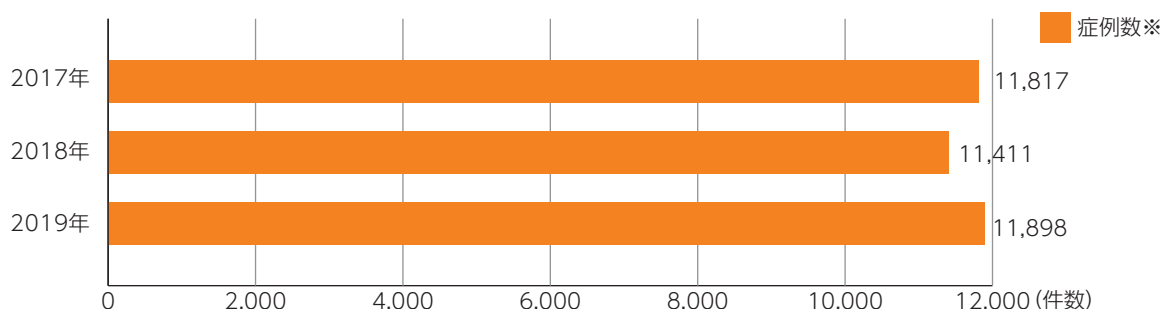


化学療法センター

外来化学療法センターは休日・祝日を除く9時から17時まで稼働し、総ベッド数40、リクライニングシート2、皮下注射スペースにリクライニングシート5、ベッド2、常勤看護スタッフ8名、事務2名、看護補助1名、がん薬物療法認定薬剤師3名、常駐医延べ526人（11診療科）で対応しています。さらに歯科衛生士による口腔ケアと経過観察、管理栄養士による栄養相談も行っています。また、同じフロアに緩和ケアセンターがあり、希望があれば受診調整いたします。施設としては2019年11月から耐震工事が始まり（2020年3月終了）より安全な化学療法を目指しています。



《2017～2019年間》外来化学療法センター利用状況



※外来化学療法センター利用者延べ症例（皮下注射も含む）

放射線治療部門

放射線治療部門では、2台のリニアックを用いた外照射を行っており、2019年は新患445名、治療患者数562名、緩和的適応が増え、1日40～45件前後の照射を行いました。常勤の医学物理士や放射線治療専門技師、放射線治療専門医が協力して高精度治療を行っており、治療機器やその周辺機器、治療計画関連システムなどの更新や整備を進めております。がん放射線療法看護認定看護師も常駐し、きめ細かいケアを行いながら治療を行っております。



《2017～2019年間》放射線治療実績

	2017年	2018年	2019年
新患者数	410	398	445
延治療患者数	476	488	562

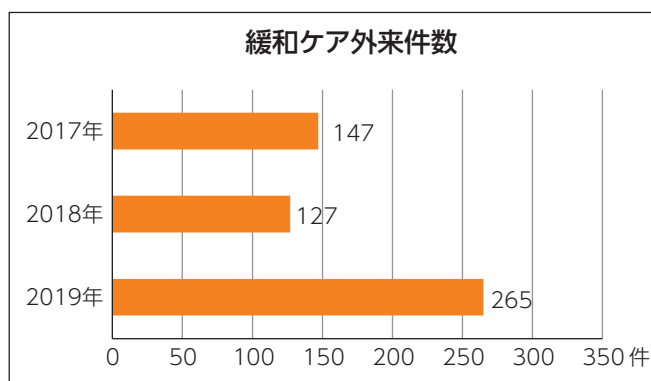
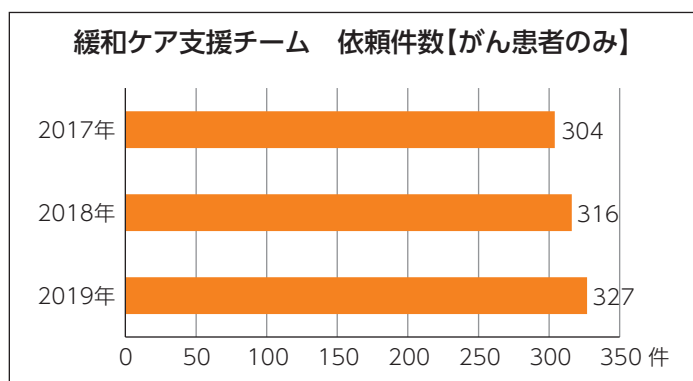
原発巣別新患数			
脳、脊髄	9	14	7
頭頸部	32	22	37
肺、縦隔	105	108	94
乳	96	83	112
食道	21	27	29
胃、小腸、結腸、直腸	37	31	43
肝、胆、膵	17	10	15
泌尿器	51	47	59
婦人科	20	22	26
造血器、リンパ系	12	20	12
皮膚、骨軟部	5	8	2
その他（原発不明含む）	3	3	6
良性疾患	2	3	3
高精度治療	73	102	106
IMRT（強度変調放射線治療）	45	53	66
前立腺	31	26	33
頭頸部	11	15	19

	2017年	2018年	2019年
中枢神経	3	10	7
その他	0	2	7
定位照射	28	49	40
頭部定位照射	10	28	24
定位手術的照射（SRS）	8	17	14
定位放射線治療（SRT）	2	11	10
体幹部定位照射	18	21	16
肺	17	21	16
肝臓	1	0	0

治療適応別治療数			
根治的・準根治的	303	289	309
緩和的	172	199	253
その他	1	0	0
遠隔転移病巣に対する照射	148	169	210
脳	46	56	60
骨	69	91	119
肺	14	5	4
肝	3	0	2
その他	18	22	25

緩和ケアセンター

入院・外来ともに多職種によるチーム医療を実践し、主治医や病棟スタッフのサポートを行っております。患者さん、ご家族の「つらさ」に焦点をあて、専門的緩和ケアとして「症状緩和」と「意思決定支援」を行い、これからの事をともに考えることができるようお手伝いをしています。

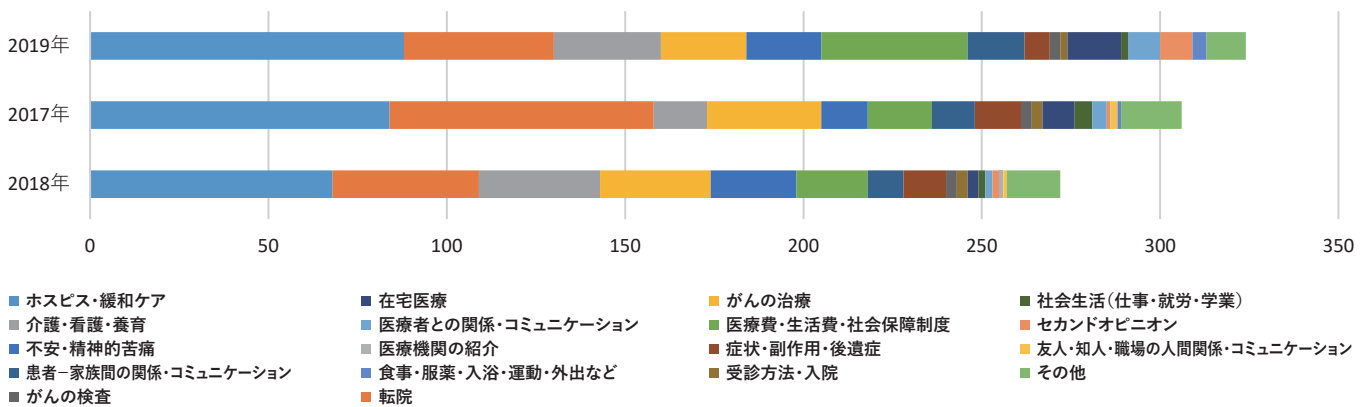


がん相談支援センター

がん相談支援センターでは、専従看護師1名とソーシャルワーカー1名が300件の相談に対応しました。夜間電話がん相談は、毎週水曜日の17時～21時に実施しており、がんに関連した専門看護師および認定看護師が24件に対応しました。相談内容は多岐に渡り、相談件数は年々増加しています。それだけ、がん患者さんやご家族が抱えている困りごとへの専門的な支援が必要な状況がうかがえます。がん相談支援センターでは、今後も、相談員の研鑽につとめ、患者さんの困りごとに寄り添う相談対応します。



《2017～2019年》がん相談支援センターでの主な相談内容



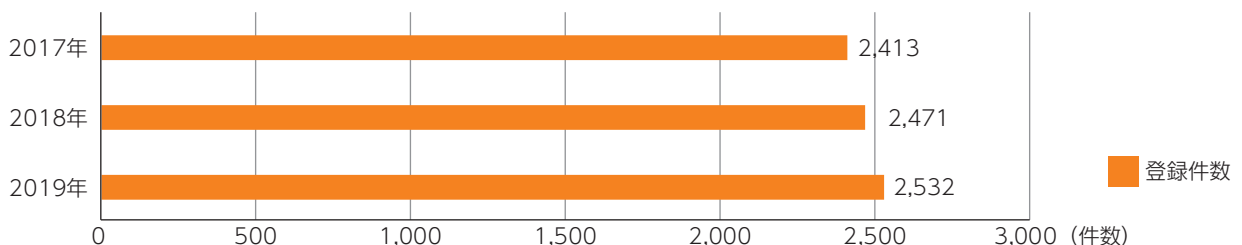
情報管理部門

医療情報管理センターでは、2009年診断症例よりがん登録業務を開始しました。2016年には「がん登録等の推進に関する法律」が施行され、法的に届け出が義務付けられています。現在は「がん登録等の推進に関する法律」および「院内がん登録の実施に係る指針」に基づき、全国がん登録と院内がん登録業務を行っており、累計登録件数は25,000件を超えています。また、院内がん登録業務は地域がん診療連携拠点病院の指定要件でもあり、個人情報の適切な管理、登録内容の精度向上を目指し国立がん研究センターの認定を受けた職員（院内がん登録初級認定者、中級認定者）が業務に当たっております。



全国および院内がん登録の情報は、国立がん研究センターに提出し統計的に集約され、患者さんへの情報提供やがん医療の質の向上、国のがん対策立案や研究などに役立てられています。

《2017～2019年間》院内がん登録 登録件数

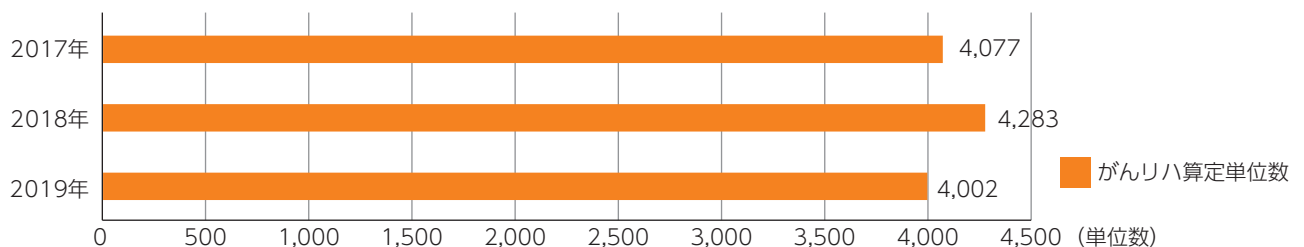


がんリハビリテーション部門

私たちはがん患者さんのリハビリテーションに取り組んでいます。がん患者さんにおけるリハビリテーションは、患者さんの回復力を高め、残っている能力を維持・向上させ、今までと変わらない生活またはそれに近い生活を取り戻すことを支援することによって、患者さんの生活の質（QOL）を大切にする考え方に基づいて行われます。がんになると、がんそのものや治療に伴う後遺症や副作用などによって、患者さんはさまざまな身体的・心理的な障害を受けます。がんのリハビリは、がんと診断されたときから、障害の予防や緩和、あるいは能力の回復や維持を目的に、あらゆる状況に応じて対応していきます。東邦大学医療センター大森病院には、現在7名のがんリハビリテーション算定可能療士が在籍し、その療士を中心に一丸となってがんリハビリテーションに取り組んでいます。



《2017～2019年間》がんリハビリテーション算定単位数



がん口腔機能管理部門

部門長：関谷 秀樹（併任；口腔外科部長）

主任：久保田玲子（専従歯科衛生士）

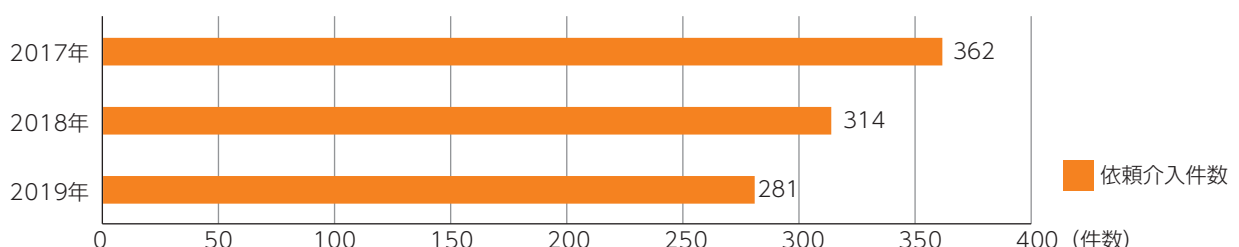
管理医師：高橋謙一郎、兼古晃輔

他 計画策定口腔外科医師（レジデント・シニアレジデント）；口腔外科と併任

がん口腔機能管理部は、本邦初の「化学療法開始前介入型」口腔機能管理システムを導入しています。通常、医科ががん患者の集学的治療の際に起こる口腔領域の有害事象は、医科主治医の「気づき」による依頼によるものであり、多くは発症・症状増悪後の依頼となることがあります。しかし、口腔外科を母体としたチーム医療により、事前に介入することで有害事象を悪化させずに、がん治療を完遂させることが可能です。

専従の歯科衛生士が、医師、薬剤師と連携して、外来化学療法室や病棟を巡回し、口腔感染症や口腔粘膜炎などが増悪する前段階で、患者指導、医科主治医への連絡を行い、口腔外科医師に依頼を促すことで、早期の介入を果たしています。結果として、介入依頼件数は、2016年をピークにどんどん減少しています。事前対応による増悪防止の重要性と口腔への意識の高まりを実感しています。理想的には、患者・医師・看護師の意識向上によって、介入依頼件数を2桁台～ゼロにすることが最終目標です。

《2017～2019年間》介入依頼件数



院内がん登録データ

対象

1. 院内がん登録データより集計

・「がん診療連携拠点病院等 院内がん登録標準登録様式 2016年版」に準じて登録した症例

2. 起算日の期間：2017年=2017年1月1日～2017年12月31日

2018年=2018年1月1日～2018年12月31日

2019年=2019年1月1日～2019年12月31日

・起算日＝自施設診断症例の場合：自施設診断日
他施設診断症例の場合：当該腫瘍初診日 を用いる。

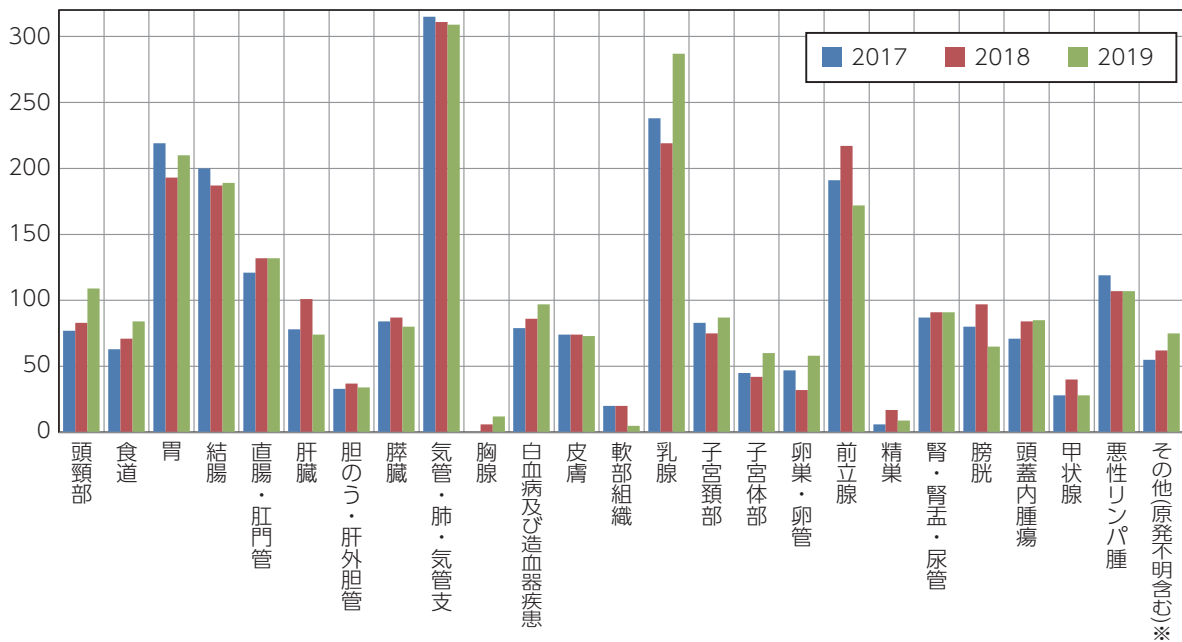
3. 疾患

- ・ICD-O 3.1の性状コード2（上皮内がん）ないし3（悪性腫瘍）
- ・髄膜、脳、脊髄および中枢神経系に発生した腫瘍は性状コード0（良性腫瘍）と1（良悪不詳）も対象
- ・消化管間質腫瘍（GIST）の場合は性状コード0（良性腫瘍）と1（良悪不詳）も対象
- ・境界悪性の卵巣腫瘍の一部（ICD-O 3.1の形態コードで8440～8479の範囲で性状コード1）も対象

4. 用語説明

- ・手術的治療：開腹や開胸手術等の外科的手術、体腔鏡を用いた手術含む
- ・薬物治療：化学療法、分子標的薬、内分泌療法を含む
- ・その他治療：いずれにも含まれない治療、肝臓のTAE、RFAなどを含む

部位別登録件数



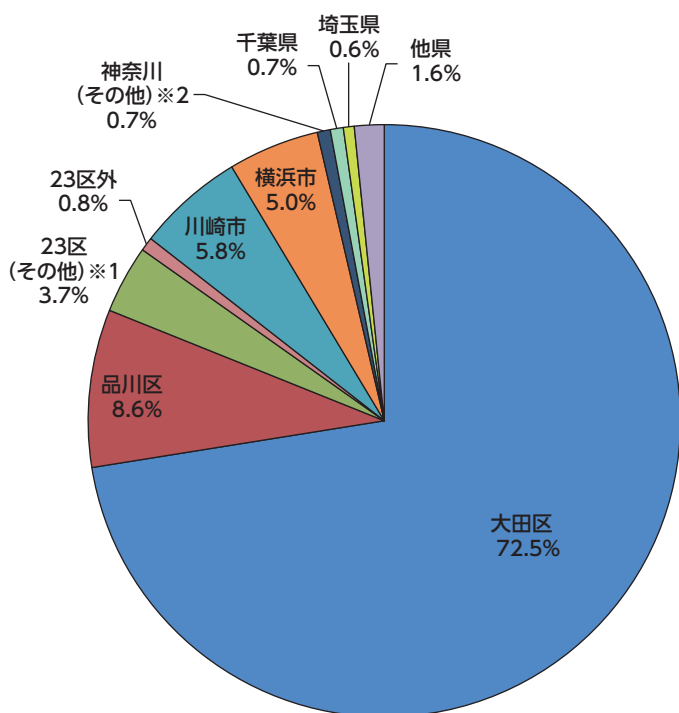
部位 / 年	2017	2018	2019
頭頸部	77	83	109
食道	63	71	84
胃	219	193	210
結腸	200	187	189
直腸・肛門管	121	132	132
肝臓	78	101	74
胆のう・肝外胆管	33	37	34
膵臓	84	87	80
気管・肺・気管支	315	311	309
胸腺	0	6	12
白血病及び造血器疾患	79	86	97
皮膚	74	74	73
軟部組織	20	20	5

部位 / 年	2017	2018	2019
乳腺	238	219	287
子宮頸部	83	75	87
子宮体部	45	42	60
卵巣・卵管	47	32	58
前立腺	191	217	172
精巣	6	17	9
腎・腎盂・尿管	87	91	91
膀胱	80	97	65
頭蓋内腫瘍	71	84	85
甲状腺	28	40	28
悪性リンパ腫	119	107	107
その他の部位(原発不明含む)*	55	62	75
総計	2,413	2,471	2,532

*胸膜・骨・外陰・膣・陰茎・眼部・脊髄・脳神経・他の中枢神経・副腎・原発不明を含む

地域別受診割合

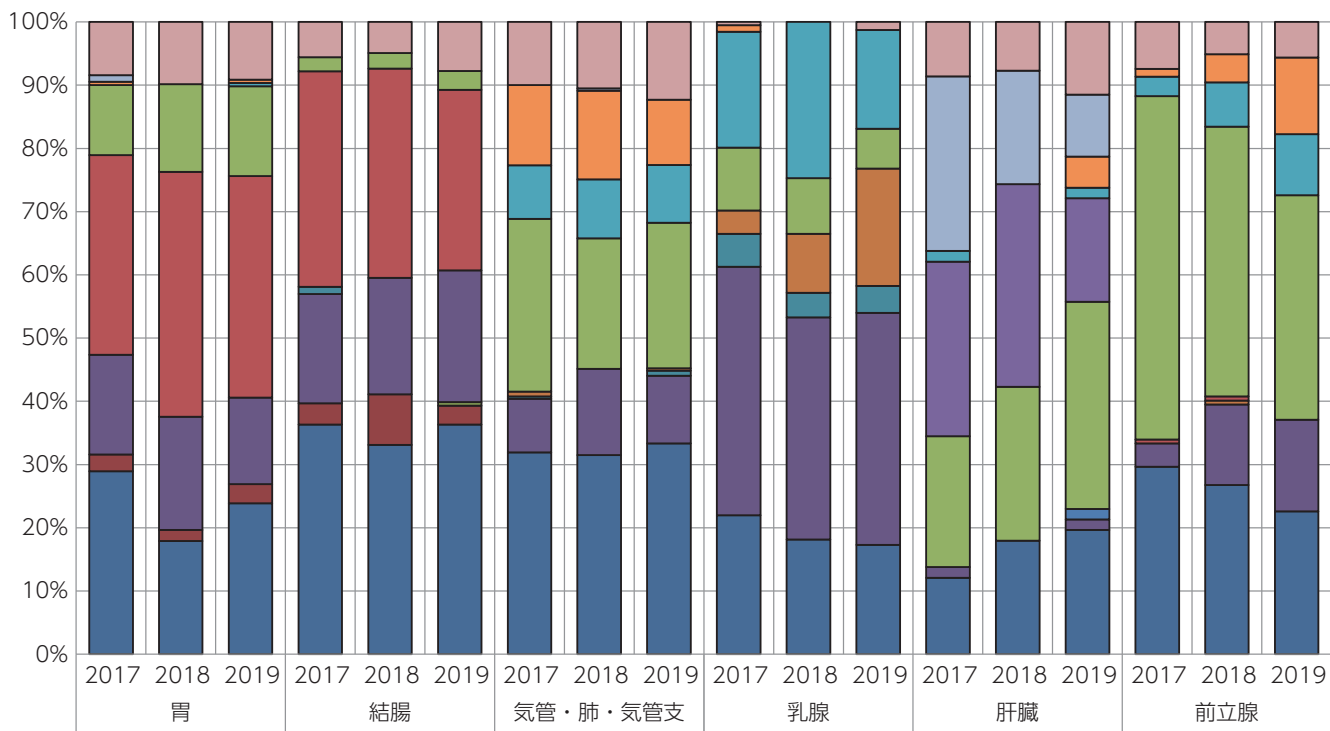
2019年



地域 / 年		2017	2018	2019
東京	大田区	1,793	1,815	1,835
	品川区	131	200	218
	23区(その他)※1	86	76	94
	23区外	23	12	19
神奈川	川崎市	138	111	148
	横浜市	130	137	126
	神奈川(その他)※2	25	38	18
その他	千葉県	25	33	18
	埼玉県	14	13	15
	他県	48	36	41
総計		2,413	2,471	2,532

※1：東京 23区のうち、大田区・品川区を除いた地域
 ※2：神奈川県のうち、川崎市・横浜市を除いた地域

6大がん初回治療別割合



■ 手術的治療のみ	■ 手術+内視鏡的治療	■ 手術+内視鏡+薬物治療	■ 手術+薬物治療
■ 手術+放射線治療	■ 手術+放射+薬物治療	■ 手術+薬物+その他治療	■ 内視鏡的治療のみ
■ 薬物治療のみ	■ 薬物+その他治療	■ 放射線治療のみ	■ 放射線+薬物治療
■ その他治療のみ	■ 治療なし		

対象：“当院で初回治療を開始した症例”もしくは“他院で初回治療を開始し当院で初回治療を継続して行った症例”を集計

がん領域関連の専門医療者資格（2020年）

職種	氏名	所属	主な認定・専門・資格等（がん関連）
医師	島田 英昭	消化器センター (消化器外科)／臨床腫瘍学講座	日本がん治療認定医機構がん治療認定医（指導責任者） 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
医師	菊池 由宣	消化器センター (消化器内科)／臨床腫瘍学講座	日本がん治療認定医機構がん治療認定医（代表指導責任者） 日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医 日本臨床腫瘍学会がん薬物療法指導医
医師	船橋 公彦	消化器センター（消化器外科）	日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
医師	金子 弘真	消化器センター（消化器外科）	日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
医師	渡邊 正志	消化器センター（消化器外科）	日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
医師	鷺澤 尚宏	消化器センター（消化器外科）	日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
医師	大塚 由一郎	消化器センター（消化器外科）	日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
医師	栗原 聰元	消化器センター（消化器外科）	日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
医師	谷島 聡	消化器センター（消化器外科）	日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
医師	石井 淳	消化器センター（消化器外科）	日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
医師	牛込 充則	消化器センター（消化器外科）	日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
医師	前田 徹也	消化器センター（消化器外科）	日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
医師	金子 奉暁	消化器センター（消化器外科）	日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
医師	大嶋 陽幸	消化器センター（消化器外科）	日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
医師	久保田 喜久	消化器センター（消化器外科）	日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
医師	鈴木 隆	消化器センター（消化器外科）	日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
医師	名波 竜規	消化器センター（消化器外科）	日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
医師	鏡 哲	消化器センター（消化器外科）	日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
医師	甲田 貴丸	消化器センター（消化器外科）	日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
医師	松本 悠	消化器センター（消化器外科）	日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
医師	三浦 康之	消化器センター（消化器外科）	日本がん治療認定医機構がん治療認定医
医師	伊藤 悠子	消化器センター（消化器外科）	日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
医師	篠原 美絵	消化器センター（消化器内科）	日本がん治療認定医機構がん治療認定医
医師	和久井 紀貴	消化器センター（消化器内科）	日本がん治療認定医機構がん治療認定医
医師	小林 智子	消化器センター（消化器内科）	日本がん治療認定医機構がん治療認定医
医師	山本 慶郎	内視鏡部（消化器内科）	日本がん治療認定医機構がん治療認定医
医師	伊豫田 明	呼吸器センター（呼吸器外科）	日本がん治療認定医機構がん治療認定医・指導責任者
医師	東 陽子	呼吸器センター（呼吸器外科）	日本がん治療認定医機構がん治療認定医
医師	大塚 創	呼吸器センター（呼吸器外科）	日本がん治療認定医機構がん治療認定医
医師	秦 美暢	呼吸器センター（呼吸器外科）	日本がん治療認定医機構がん治療認定医
医師	岸 一馬	呼吸器センター（呼吸器内科）	日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本臨床腫瘍学会癌薬物療法専門医
医師	磯部 和順	呼吸器センター（呼吸器内科）	日本がん治療認定医機構がん治療認定医
医師	坂本 晋	呼吸器センター（呼吸器内科）	日本がん治療認定医機構がん治療認定医
医師	仲村 泰彦	呼吸器センター（呼吸器内科）	日本がん治療認定医機構がん治療認定医
医師	吉澤 孝浩	呼吸器センター（呼吸器内科）	日本がん治療認定医機構がん治療認定医
医師	高橋 浩之	小児医療センター（小児科）	日本小児血液・がん学会暫定指導医
医師	羽賀 洋一	小児医療センター（小児科）	日本がん治療認定医機構がん治療認定医
医師	黒岩 実	小児医療センター（小児外科）	日本小児血液・がん学会小児がん認定外科医
医師	名取 一彦	血液・腫瘍科	日本がん治療認定医機構がん治療認定医
医師	長瀬 大輔	血液・腫瘍科	日本がん治療認定医機構がん治療認定医
医師	藤野 春香	血液・腫瘍科	日本がん治療認定医機構がん治療認定医
医師	緒方 秀昭	乳腺・内分泌外科	日本乳癌学会乳腺専門医・指導医
医師	斉藤 芙美	乳腺・内分泌外科	日本乳癌学会認定医
医師	片岡 明美	乳腺・内分泌外科	日本乳癌学会乳腺専門医・指導医
医師	日野 真人	乳腺・内分泌外科	日本乳癌学会乳腺専門医
医師	久保田 伊哉	乳腺・内分泌外科	日本乳癌学会認定医
医師	荻野 晶弘	形成外科	日本形成外科学会皮膚腫瘍外科指導専門医
医師	岡田 恵美	形成外科	日本形成外科学会再建・マイクロサージャリー分野指導医 日本形成外科学会皮膚腫瘍外科指導専門医
医師	大西 清	形成外科	日本形成外科学会皮膚腫瘍外科指導専門医 日本形成外科学会再建・マイクロサージャリー分野指導医
医師	林 明照	形成外科	日本形成外科学会皮膚腫瘍外科指導専門医 日本形成外科学会再建・マイクロサージャリー分野指導医
医師	佐瀬 道郎	形成外科	日本形成外科学会再建・マイクロサージャリー分野指導医 日本形成外科学会再建・マイクロサージャリー分野指導医
医師	小宮山 慎一	産婦人科	日本がん治療認定機構がん治療認定医 日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医および指導医
医師	坂本 智子	産婦人科	日本がん治療認定機構がん治療認定医 日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医
医師	長島 克	産婦人科	日本がん治療認定機構がん治療認定医

がん領域関連の専門医療者資格（2020年）

職種	氏名	所属	主な認定・専門・資格等（がん関連）
医師	小林 秀行	泌尿器科	日本がん治療認定医機構がん治療認定医
医師	山辺 史人	泌尿器科	日本がん治療認定医機構がん治療認定医（指導責任者）
医師	寺原 敦朗	放射線科	放射線治療専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医（指導責任者）
医師	芝田 紫野	放射線科	放射線治療専門医
医師	澁谷 和俊	病理診断科	日本病理学会認定病理専門医、研修指導医
医師	栃木 直文	病理診断科	日本病理学会認定病理専門医、研修指導医 日本臨床細胞学会細胞診専門医、指導医
医師	若山 恵	病理診断科	日本病理学会認定病理専門医、研修指導医 日本臨床細胞学会細胞診専門医・指導医
医師	密田 亜希	病理診断科	日本病理学会認定病理専門医、研修指導医
医師	江嶋 梢	病理診断科	日本病理学会認定病理専門医 日本臨床細胞学会細胞診専門医
医師	定本 聡太	病理診断科	日本病理学会認定病理専門医
医師	二本柳 康博	病理診断科	日本病理学会認定病理専門医 日本臨床細胞学会細胞診専門医
医師	中村 陽一	緩和ケアセンター／ 臨床腫瘍学講座	日本緩和医療学会緩和医療専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
医師	平沼 彩子	緩和ケアセンター／ 臨床腫瘍学講座	日本緩和医療学会緩和医療認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
医師	後藤 麻佑	緩和ケアセンター／消化器外科	日本緩和医療学会緩和医療認定医
理学療法士	三田 乃理子	リハビリテーション科	リンパ浮腫療法士
作業療法士	村野 諒子	リハビリテーション科	リンパ浮腫療法士
薬剤師	渡辺 和美	薬剤部	日本医療薬学会・がん指導薬剤師 日本医療薬学会・がん専門薬剤師
薬剤師	松本 高広	薬剤部	日本緩和医療薬学会・緩和薬物療法認定薬剤師
薬剤師	越川 一誠	薬剤部	日本医療薬学会がん専門薬剤師
薬剤師	有田 仁紀	薬剤部	日本病院薬剤師会・がん薬物療法認定薬剤師
薬剤師	柳野 紗智子	薬剤部	日本臨床腫瘍薬学会・外来がん治療認定薬剤師
薬剤師	今川 未紀	薬剤部	日本臨床腫瘍薬学会・外来がん治療認定薬剤師
薬剤師	島田 誓子	薬剤部	日本緩和医療薬学会・緩和薬物療法認定薬剤師
薬剤師	菅井 瞳	薬剤部	日本臨床腫瘍薬学会・外来がん治療認定薬剤師
管理栄養士	古田 雅	栄養部	日本病態栄養学会/日本栄養士会認定 がん病態栄養専門管理栄養士 日本病態栄養学会/日本栄養士会認定 がん専門管理栄養士研修指導師
管理栄養士	中村 芽似子	栄養部	日本病態栄養学会/日本栄養士会認定 がん病態栄養専門管理栄養士
診療情報管理士	太田 年彦	医療情報管理センター	がん登録実務中級認定者
診療情報管理士	沼辺 将太	医療情報管理センター	がん登録実務中級認定者
診療情報管理士	小池 舞	医療情報管理センター	がん登録実務中級認定者
診療情報管理士	草道 裕子	医療情報管理センター	がん登録実務初級認定者
診療情報管理士	永澤 杏里	医療情報管理センター	がん登録実務初級認定者
診療情報管理士	渡邊 瞳美	医療情報管理センター	がん登録実務初級認定者
診療情報管理士	江島 文恵	医療情報管理センター	がん登録実務初級認定者
診療情報管理士	木下 侑香	医療情報管理センター	がん登録実務初級認定者
診療情報管理士	岩崎 竜介	医療情報管理センター	がん登録実務初級認定者
診療情報管理士	高橋 夏海	医療情報管理センター	がん登録実務初級認定者
MSW	松本 幸則	地域医療支援センター	相談員基礎研修会(1)(2)(3)
MSW	近藤 亜紀子	地域医療支援センター	相談員基礎研修会(1)(2)(3)
看護師	節原 光江	看護部	がん看護専門看護師
看護師	竹下 昌代	看護部	相談員基礎研修会(1)(2)
看護師	黒澤 亮子	看護部	がん看護専門看護師 がん看護専門看護師
看護師	祖父江 由紀子	看護部	相談員基礎研修会(1)(2)(3) リンパ浮腫療法士
看護師	中村 和美	看護部	緩和ケア認定看護師
看護師	池田 睦	看護部	緩和ケア認定看護師
看護師	清水 あさみ	看護部	緩和ケア認定看護師
看護師	前田 久美子	看護部	緩和ケア認定看護師
看護師	森口 容子	看護部	がん化学療法看護認定看護師
看護師	古賀 亜希子	看護部	がん化学療法看護認定看護師
看護師	高地 幸子	看護部	がん化学療法看護認定看護師
看護師	下条 奈巳	看護部	がん性疼痛看護認定看護師 相談員基礎研修会(1)(2)(3)
看護師	馬越 雅理	看護部	がん性疼痛看護認定看護師
看護師	碓 美迫子	看護部	がん性疼痛看護認定看護師
看護師	川又 里美	看護部	乳がん看護認定看護師
看護師	北爪 麻紀	看護部	がん放射線療法看護認定看護師 リンパ浮腫療法士
看護師	山崎 香代	看護部	摂食・嚥下障害看護認定看護師
看護師	保刈 伸代	看護部	皮膚・排泄ケア認定看護師
看護師	斉藤 容子	看護部	皮膚・排泄ケア認定看護師
看護師	守口 淳子	看護部	皮膚・排泄ケア認定看護師
教員	村上 好恵	看護部（看護学科）	日本家族性腫瘍学会家族性腫瘍コーディネーター
事務	三上 彰	事務部	相談員基礎研修会(1)(2)

業績：がん領域関連の英文論文（2019年度）

No.	論題名	著者・共著者	掲載雑誌	講座名
1	Ovarian Clear Cell Carcinoma Detected During Long-Term Management of Endometriotic Cysts in Young Patients: Possible Heterogeneity of this Tumor.	Komiyama S, Nagashima M, Taniguchi T, Yokouchi Y, Kugimiya T.	Gynecol Obstet Invest.	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森)
2	Validation of index-based IWATE criteria as an improved difficulty scoring system for laparoscopic liver resection.	Tanaka S, Kawaguchi Y, Kubo S, Kanazawa A, Takeda Y, Hirokawa F, Nitta H, Nakajima T, Kaizu T, Kaibori M, Kojima T, Otsuka Y †, Fuks D, Hasegawa K, Kokudo N, Kaneko H †, Gayet B, Wakabayashi G	Surgery	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)
3	Bevacizumab Plus Direct Oral Anticoagulant Therapy in Ovarian Cancer Patients with Distal Deep Vein Thrombosis.	Shinichi Komiyama †, Masaru Nagashima †, Tomoko Taniguchi †, Takayuki Rikitake, Mineto Morita †	Clinical drug investigation	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森)
4	Genome-wide DNA methylation analysis in obese woman predicts an epigenetic signature for future endometrial cancer	Masaru Nagashima, Naofumi Miwa, Hajime Hirasawa, Yukiko Katagiri, Ken Takamatsu, Mineto Morita	Scientific Reports	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森)
5	Transformation of epidermal growth factor receptor T790M mutation-positive adenocarcinoma of the lung to small cell carcinoma and large-cell neuroendocrine carcinoma following osimertinib therapy: an autopsy case report.	Shuhei Moriguchi, Hironori Uruga, Takeshi Fujii, Yoichi Yasunaga, Yui Takahashi, Kazuma Kishi †	Respirology Case Reports	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)
6	prognostic significance of inflammation-based prognostic scoring in patients with upper urinary tract urothelial carcinoma	Taisuke Suyama, Shigeki Kanbe, Masanobu Maegawa, Hirofumi Shimizu, Koichi Nakajima	International Brazilian Journal of Urology	医学部 医学科 泌尿器科学講座(大森)
7	Comparison of quantitative measurements of central nervous system tumour consistency and the associated preoperative imaging findings.	Masuda H, Nemoto M, Kondo K, Ando S, Ueda K, Node Y, Harada N, Sugo N	British Journal of Neurosurgery	医学部 医学科 脳神経外科学講座(大森)
8	A New Method to Quantify Concentration of Microbubbles in Attenuating Media Using Bubble Destruction Curve Analysis of the Contrast-Enhanced Ultrasound.	Kamiyama N †, Wakui N †, Oguri T †, Hashimoto H †, Kanayama Y †, Nagai H †	Ultrasound Med Biol	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野(大森)
9	Flash Imaging Used in the Post-vascular Phase of Contrast-Enhanced Ultrasonography is Useful for Assessing the Progression in Patients with Hepatitis C Virus-Related Liver Disease.	Wakui N †, Nagai H †, Yoshimine N †, Amanuma M †, Kobayashi K †, Ogino Y †, Matsui D †, Mukozu T †, Matsukiyo Y †, Matsui T †, Daido Y †, Momiyama K †, Shinohara M †, Kudo T †, Maruyama K †, Sumino Y †, Igarashi Y †	Ultrasound Med Biol	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野(大森)
10	Anti-FIRΔexon2, a splicing variant form of PUF60, auto-antibody is detected in the sera of esophageal squamous cell carcinoma.	Kobayashi S, Hiwasa T, Ishige T, Bahitayr R, Kano M, Hoshino T, Minamoto T, Shimada H †, Nomura F, Matsubara H, Matsushita K	Cancer science	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座
11	Plasma ctDNA monitoring during epidermal growth factor receptor (EGFR)-tyrosine kinase inhibitor treatment in patients with EGFR-mutant non-small cell lung cancer (JP-CLEAR trial).	Kazuhiro Usui, Takuma Yokoyama, Go Naka, Hiroo Ishida, Kazuma Kishi †, Kohei Uemura, Yasuo Ohashi, Hideo Kunitoh	Japanese Journal of Clinical Oncology	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)
12	Validation and performance of three-level procedure-based classification for laparoscopic liver resection.	Kawaguchi Y, Tanaka S, Fuks D, Kanazawa A, Takeda Y, Hirokawa F, Nitta H, Nakajima T, Kaizu T, Kaibori M, Kojima T, Otsuka Y †, Kubo S, Hasegawa K, Kokudo N, Kaneko H †, Wakabayashi G, Gayet B.	Surgical endoscopy	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)
13	The effectiveness of serum midkine in detecting esophageal squamous cell carcinoma.	Shiratori F †, Ito M †, Yajima S †, Suzuki Takashi †, Oshima Y †, Nanami T †, Funahashi K †, Shimada H †	Esophagus	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座
14	Effectiveness of a comprehensive oral management protocol for the prevention of severe oral mucositis in patients receiving radiotherapy with or without chemotherapy for oral cancer: a multicentre, phase II, randomized controlled trial.	Kawashita Y, Koyama Y, Kurita H, Otsuru M, Ota Y, Okura M, Horie A, Sekiya H, Umeda M.	Int J Oral Maxillofac Surg	医学部 医学科 口腔外科学研究室(大森)
15	Acute promyelocytic leukemia with a cryptic insertion of RARA into TBL1XR1.	Osumi T, Watanabe A, Okamura K, Nakabayashi K, Yoshida M, Tsujimoto SI, Uchiyama M, Takahashi H, Tomizawa D, Hata K, Kiyokawa N, Kato M.	Genes Chromosomes Cancer	医学部 医学科 小児科学講座(大森)
16	Resistance of t(17;19)-acute lymphoblastic leukemia cell lines to multagents in induction therapy.	Watanabe A, Inukai T, Kagami K, Abe M, Takagi M, Fukushima T, Fukushima H, Nanmoku T, Terui K, Ito T, Toki T, Ito E, Fujimura J, Goto H, Endo M, Look T, Kamps M, Minegishi M, Takita J, Inaba T, Takahashi H, Ohara A, Harama D, Shinohara T, Somazu S, Oshiro H, Akahane K, Goi K, Sugita K.	Cancer Medicine	医学部 医学科 小児科学講座(大森)
17	Treatment outcome of patients with unresectable stage III non-small cell lung cancer and interstitial pneumonia.	Kazumasa Ogawa, Yui Takahashi, Kyoko Murase, Shigeo Hanada, Hironori Uruga, Hisashi Takaya, Atsushi Miyamoto, Nasa Morokawa, Atsuko Kurosaki, Kazuma Kishi †	Respiratory Investigation	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)
18	A case of mixed-type early gastric cancer with recurrence following curative endoscopic submucosal dissection for expanded indication	Kobayashi S †, Nonaka S, Oda I, Abe S, Suzuki H, Yoshinaga S, Taniguchi H, Sekine S, Igarashi Y †, Saito Y	Endoscopy International Open	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野(大森)
19	Incidence of and risk factors for incisional hernia after closure of temporary ileostomy for colorectal malignancy	Kaneko T* †, Funahashi K †, Ushigome M †, Kagami S †, Goto M †, Koda T †, Nagashima Y †, Shiokawa H †, Koike J †	Hernia : the journal of hernias and abdominal wall surgery	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)
20	Glucose metabolism changes during the development and progression of oral tongue squamous cell carcinomas.	Nakazato K, Mogushi K, Kayamori K, Tsuchiya M, Takahashi KI, Sumino J, Michi Y, Yoda T, Uzawa N.	Oncology Letters	医学部 医学科 口腔外科学研究室(大森)
21	Diagnostic and prognostic impacts of six autoantibodies against multiple tumor-associated antigens with hepatocellular carcinoma.	Okada R †, Hoshino I, Nabeya Y, Yokoi S, Kuwajima A, Tagawa M, Matsushita K, Otsuka Y †, Shimada H* †	Toho Journal of Medicine	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座
22	Induction of Cell Fusion/Apoptosis in Anaplastic Thyroid Carcinoma in Orthotopic Mouse Model by Urokinase-specific Oncolytic Sendai Virus.	Miyagawa Y, Araki K, Yamashita T, Tanaka S, Tanaka Y, Tomifuji M, Ueda Y, Yonemitsu Y, Shimada H †, Shiotani A	Head & neck	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座
23	The Utility of Virtual Bronchoscopy Using a Computed Tomography Workstation for Conducting Conventional Bronchoscopy	Miyoshi S †, Isobe K †, Shimizu H †, Sunakawa M, Suzuki A †, Sugino K †, Shiraga N †, Sakamoto S †, Takai Y †, Iyoda A †, Homma S †	Respiration	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森), 医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森), 医学部 医学科 放射線医学講座(大森)
24	Toward improving prognosis prediction in patients undergoing small lung adenocarcinoma resection: Radiological and pathological assessment of diversity and intratumor heterogeneity.	Koezuka S †, Mikami T †, Tochigi N †, Sano A †, Azuma Y †, Makino T †, Otsuka H †, Matsumoto K, Shiraga N †, Iyoda A †	Lung cancer	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森), 医学部 医学科 病理学講座(大森), 医学部 医学科 病院病理学講座(大森), 医学部 医学科 放射線医学講座(大森)
25	Gangliocytic paraganglioma: An overview and future perspective	Okubo Y	World Journal of Clinical Oncology	医学部 医学科 病院病理学講座(大森)
26	Characteristics of adverse events of endocrine therapies among older patients with breast cancer.	Honma N †, Makita M, Saji S, Mikami T †, Ogata H †, Horii R, Akiyama F, Iwase T, Ohno S	Supportive Care in Cancer	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 病理学講座
27	Does preoperative low HbA1c predict esophageal cancer outcomes?	Kochi R †, Suzuki T †, Yajima S †, Oshima Y †, Ito M †, Funahashi K †, Shimada H †*	Annals of thoracic and cardiovascular surgery : official journal of the Association of Thoracic and Cardiovascular Surgeons of Asia	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座, 医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森)
28	Unusual Bone Lesions with Osteonecrosis Mimicking Bone Metastasis of Squamous Cell Carcinoma in Recessive Dystrophic Epidermolysis Bullosa.	Saito A, Nakamura Y, Tanaka R, Inoue S, Okiyama N, Ishitsuka Y, Maruyama H, Watanabe R, Yoshida K †, Ishiko A †, Fujimoto M, Shinkuma S, Fujisawa Y	Acta dermatovenereologica	医学部 皮膚科学講座
29	Summary of the Japanese Respiratory Society statement for the treatment of lung cancer with comorbid interstitial pneumonia.	Ogura T, Takigawa N, Tomii K, Kishi K, Inoue Y, Ichihara E, Homma S, Takahashi K, Akamatsu H, Ikeda S, Inase N, Iwasawa T, Ohe Y, Ohta H, Onishi H, Okamoto I, Ogawa K, Kasahara K, Karata H, Kishimoto T, Kitamura Y17, Gemma A, Kenmotsu H, Sakashita H, Sakamoto S, Sekine K, Takiguchi Y, Tada Y, Toyooka S, Nakayama Y, Nishioka Y, Hagiwara K, Hanibuchi M, Fukuoka J, Minegishi Y, Yanagihara T, Yamamoto N, Yamamoto H, Gaga M, Fong KM, Powell CA, Kiura K	Respiratory investigation	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)

業績：がん領域関連の英文論文（2019年度）

No.	論題名	著者・共著者	掲載雑誌	講座名
30	Expression of mTOR signaling pathway molecules in triple-negative breast cancer.	Ito K, Ogata H †, Honma N †, Shibuya K †, Mikami T †	Pathobiology : journal of immunopathology, molecular and cellular biology	医学部 医学科 病理学講座, 医学部 医学科 病院病理学講座(大森), 医学部 医学科 一般・消化器外科学分野(大森)
31	Japanese Structure Survey of Radiation Oncology in 2011	Numasaki H, Teshima T, Nishimura T, Akuta K, Ando Y, Ikeda H, Kamikonya N, Koizumi M, Sasaki T, Sekiguchi K, Tago M, Terahara A †, Nakamura K, Nishio M, Murakami M, Mori Y, Ogawa K	Journal of Radiation Research	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)
32	High and/or non-decreased systemic inflammatory index during treatment indicates poor prognosis in patients with esophageal cancer.	Murayama K †, Suzuki Takashi †, Oshima Y †, Yajima S †, Funahashi K †, Shimada H †*	Toho Journal of Medicine	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部医学科臨床腫瘍学講座
33	Prognostic impact of plasma fibrinogen changing in patients with resectable pancreatic cancer.	Okada R †, Otsuka Y †, Tsuchiya M †, Ito Y †, Matsumoto Y †, Maeda T †, Ishii J †, Kubota Y †, Funahashi K †, Shimada H* †	Toho Journal of Medicine	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部医学科臨床腫瘍学講座
34	Ramsay-Hunt syndrome and subsequent sensory neuropathy as potential immune-related adverse events of nivolumab: a case report	Takashi Sakoh, Mami Kanzaki, Atsushi Miyamoto, Sayaka Mochizuki, Toshiyuki Kakumoto, Kenichiro Sato, Yoshikazu Uesaka & Kazuma Kishi †	BMC Cancer	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)
35	Clinical Importance of Long Non-coding RNA LINC00460 Expression in EGFR-mutant Lung Adenocarcinoma	Nakano Y, Isobe K, Kobayashi H, Kaburaki K, Isshiki T, Sakamoto S, Takai Y, Tochigi T, Mikami T, Iyoda A, Homma S, Kishi K	International journal of oncology	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)
36	Nivolumab-induced anti-aminoacyl-tRNA synthetase antibody-positive polymyositis complicated by interstitial pneumonia in a patient with lung adenocarcinoma.	Kotaro Shikano, Kaichi Kaneko, Kyohei Kaburaki, Kazutoshi Isobe, Seiichi Kawabe, Sakae Homma, Shinichi Kawai, Toshihiro Nanki	Scandinavian Journal of Rheumatology	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森)
37	Intestinal malrotation in a patient who underwent radical cystectomy and ileal conduit construction: A case report	Fumito Yamabe*, Hiroshi Aoki, Remi Iwamoto, Yozo Mitsui, Hideyuki Kobayashi, Koichi Nakajima	urology case reports	医学部 医学科 泌尿器科学講座(大森)
38	Japanese structure survey of radiation oncology in 2012	Numasaki H, Teshima T, Ando Y, Akuta K, Ikeda H, Okajima K, Kumano T, Sasaki T, Sekiguchi K, Tago M, Terahara A †, Nakamura K, Nishimura T, Ogawa K	Journal of Radiation Research	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)
39	Pulmonary Oligometastases Treated by Stereotactic Body Radiation Therapy: A Nationwide Survey of 1,378 Patients	Niibe Y †, Yamamoto T, Onishi H, Yamashita H, Katsui K, Matsumoto Y, Oh RJ, Aoki M, Shintani T, Yamada K, Kobayashi M, Ozaki M, Manabe Y, Yahara K, Nishikawa A, Kakuhara H, Yamamoto K, Inoue T, Takada YU, Nagata K, Suzuki O, Terahara A †, Jingu K	Anticancer research	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)
40	Factors affecting R0 resection of colorectal cancer with synchronous peritoneal metastases: a multicenter prospective observational study by the Japanese Society for Cancer of the Colon and Rectum.	Shida D, Kobayashi H, Kameyama M, Hase K, Maeda K, Suto T, Itabashi M, Funahashi K †, Koyama F, Ozawa H, Noura S, Ishida H, Kanemitsu Y, Kotake K, Sugihara K	International Journal of Clinical Oncology	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)
41	Key components of a hepatobiliary surgery curriculum for general surgery residents: results of the FULCRUM International Delphi consensus.	Rashidian N, Willaert W, Van Herzele I, Morise Z, Alseidi A, Troisi R; FULCRUM Research Group*	HPB : the official journal of the International Hepato Pancreato Biliary Association	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)
42	High serum PD-L1 level is a poor prognostic biomarker in surgically treated esophageal cancer.	Ito M †, Yajima S †, Suzuki Takashi †, Oshima Y †, Nanami T †, Sumazaki M †, Shiratori F †, Funahashi K †, Tochigi N †, Shimada H* †	Cancer medicine	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部医学科臨床腫瘍学講座
43	Prognostic impact of p53 and/or NY-ESO-1 autoantibody induction in patients with gastroenterological cancers.	Hoshino I, Nabeya Y, Takiguchi N, Gunji H, Ishige F, Iwatate Y, Shiratori F †, Yajima S †, Okada R †, Shimada H †*	Annals of Gastroenterological Surgery	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部医学科臨床腫瘍学講座
44	A phase I and extension study of S-1 and carboplatin for previously untreated patients aged 75 years or more with advanced non-small cell lung cancer -TCOG 1101-	Takashi Kasai, Kiyoshi Mori, Kazuma Kishi †, Takayuki Kaburagi, Yukio Hosomi, Hisao Imai, Yutaka Yamada, Makiko Yomota, Syuhei Moriguchi, Masahiro Seike, Koichi Minato, Akihiko Gemma, for The Tokyo Cooperative Oncology Group	International Journal of Clinical Oncology	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)
45	Serum levels of ANOS1 serve as a diagnostic biomarker of gastric cancer: a prospective multicenter observational study.	Kanda M, Suh YS, Park DJ, Tanaka C, Ahn SH, Kong SH, Lee HJ, Kobayashi D, Fujiwara M, Shimada H †, Cho B, Murotani K, Kim HH, Yang HK, Kōdera Y	Gastric cancer	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部医学科臨床腫瘍学講座
46	Neuroendocrine Tumors of the Lung: Clinicopathological and Molecular Features.	Iyoda A †, Azuma Y †, Sano A †	Surgery Today	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森)
47	Comparative outcomes between palliative ileostomy and colostomy in patients with malignant large bowel obstruction	Nagashima Y †, Funahashi K* †, Ushigome M †, Kagami S †, Kaneko T †, Yoshino Y †, Koda T †, Koike J †, Kurihara A †, Sakai T †, Goto M †	Journal of the Anus, Rectum and Colon	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)
48	What is the advantage of rectal amputation with an initial perineal approach for primary anorectal carcinoma?	Funahashi K †, Goto M †, Kaneko T †, Ushigome M †, Kagami S †, Koda T †, Nagashima Y †, Yoshida K †, Miura Y †	BMC surgery	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)

業績：がん領域関連の競争的外部資金獲得実績 科学研究費等（2019年度実績）

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(単位:千円)	補助元又は委託元
1	検証された評価基準を用いた口腔トリアージ法による手術周術期口腔管理の肺炎予防効果	関谷秀樹	口腔外科	4,290	独立行政法人日本学術振興会・科学研究費補助金・基盤研究C
2	胆汁酸取り込みによる白血球細胞の悪性度評価と胆汁酸取り込み阻害による新抗腫瘍薬開発のための基盤研究	羽賀洋一	小児科	100	公益財団法人 がんの子どもを守る会
3	胆汁酸取り込みによる白血球細胞の悪性度評価と胆汁酸取り込み阻害による新抗腫瘍薬開発のための基盤研究	羽賀洋一	小児科	300	平成30年東邦大学創立60周年記念学術振興基金
4	「卵巣癌・腹膜癌・卵管癌における腎静脈より頭側の高位傍大動脈リンパ節転移実態の解明」	小宮山慎一	産婦人科		文部科学省 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C) 課題番号 18K09302
5	タンパク質・ペプチド修飾解析による早期がん・リスク疾患診断のための血液バイオマーカーの開発	本田一文(代表) 島田英昭(分担)	国立がん研究センター がんセンター/ 消化器外科	1,400	日本医療研究開発機構 (AMED) 委託研究開発費 次世代がん医療創生研究事業
6	Oligometastasesに対する放射線治療の個別化治療戦略の確立	新部謙(代表) 島田英昭(分担)	がんセンター/ 消化器外科	100	日本学術振興会 学術研究助成基金助成金 基盤研究C
7	RaLAとNY-ESO-1を標的とした食道癌血清抗体モニタリングに関する研究	島田英昭(代表)	がんセンター/ 消化器外科	1,100	日本学術振興会 学術研究助成基金助成金 基盤研究C
8	胃癌患者血清RaLA抗体モニタリングによる再発・予後・治療感受性診断に関する検討	名波竜規(代表) 島田英昭(分担) 大嶋陽幸(分担)	消化器外科	900	日本学術振興会 学術研究助成基金助成金 基盤研究C
9	がん抑制p53経路とHippo経路を標的とした消化器がんに対する治療法開発	田川雅敏(代表) 島田英昭(分担)	がんセンター/ 消化器外科	100	日本学術振興会 学術研究助成基金助成金 基盤研究C

「大森がんサロン」について

「大森がんサロン」を開設し、4年目を迎えました。ご参加いただく人数も増え、「大森がんサロン」が患者さんやご家族の間に浸透してきたことを嬉しく思います。

2019年度は、患者さん・ご家族の情報交換や親睦がはかれるような環境作りとして、がん体験者の方にご協力をいただきました。同じ経験をされた方同士だからこそ語り合えることや分かり合えることがあります。参加された方々の笑顔 あふれる会となりました。また、ご参加いただいた患者さん・ご家族

に少しでも「楽しい時間を実感していただきたい」という思いから、「パステル和 (NAGOMI) アート」と題し、パステル画の会を開催しました。講師の方から道具の使い方について説明を受けたあと、それぞれの思いをのせて小さなキャンパスに色を重ねていきました。素敵な絵が完成し、みなさんの笑顔とともに楽しい時間を過ごすことができました。

今年度の参加者アンケートでも「サロンは他の患者や看護師からの話が聞け、有意義な時間だ」「がんの話ができる場所があることがうれしい」「健康な人には話せないことも気軽に話せた」などの意見をいただきました。今後も、がん患者さんやご家族が安心して語れる場を作っていきたいと思えます。



▲パステル画



『大森がんサロン』のご案内

日時：毎月第2火曜日 14：30～16：30

イベント開催時間 15：00～15：30

場所：からだのとしよしつ（2号館 3階）

当サロンは、当院のがん患者さんとそのご家族の交流の場です。

ご病気や治療についての不安や心配ごとについて話したり、お話を聞いたりしてみませんか？誰かと話をすることで気持ちが楽になるかもしれません。

2019年度の開催予定

※2020年2月の第2週は祝日となるため、第3週に開催いたします。

日付	テーマ	担当
4月9日	パステル和 (NAGOMI) アートで	準インストラクター
10月8日	簡単に楽しくパステル画を描きましょう！	そふえ ゆきこ (大森病院)
5月14日	症状にあわせた食事の工夫	大森病院 管理栄養士
11月12日	吐き気、便秘、食欲不振など	神山 麗
6月11日	がん治療と『くち』の中のケア	大森病院 徳科衛生士
12月10日		久保田 玲子
7月9日	体力の低下を予防するストレッチなど	大森病院 作業療法士
2020年1月14日		村野 諒子
8月13日	がん体験者と話をしてみよう！	アデランス
2020年2月18日	-外見ケアについて-	横谷 千恵子 (がん体験者)
9月10日	がんと気持ちの変化	大森病院 がん看護専門看護師
2020年3月10日	-気持ちの付き合い方-	黒澤 亮子



- * イベントの詳細は変更になる可能性があります。
- * 事前のお申込み、参加費は不要です。ご自由に入退室できます。
- * 飲水は可能ですが、食事はご遠慮ください。
- * がんサロン開催中は当院看護師などが同席します。

お問い合わせ：大森病院 総務課 03-3762-4151 (代表)

～当院における がん生殖医療のご案内～

産婦人科、リプロダクションセンター(婦人科)
教授 片桐 由起子

当院では、かねてより生殖医療に力を入れており、不妊治療として体外受精や顕微授精、胚凍結・胚移植を、年間約900～1,000周期に実施しております。その不妊治療として培った実績を、悪性疾患の方の将来の妊孕性温存にお役立ていただくべく、がん生殖医療にも力を入れております。産婦人科科外来および泌尿器科科外来からは独立したリプロダクションセンターで対応しております。

がんや血液腫瘍など、悪性疾患の患者さんが、その疾患の治療のために、化学療法や放射線療法等をおこなうことで、妊娠や出産というライフイベントを経験する前に精巣機能や卵巣機能が低下し、その結果、原疾患が治癒・寛解したのちに妊娠・出産ができなくなる可能性が予測される場合、治療を開始する前に精液や卵子または胚・(受精卵)、卵巣組織を凍結・保存する技術が「がん生殖医療」ですが、女性に対する妊孕性温存生殖医療は、日本産科婦人科学会の施設認定の下に実施されており、当院はその認定施設として生殖医療技術を提供しております。

悪性疾患の治療では、一刻も早い治療の開始が望まれることと存じますが、当院ではその治療計画へ影響しないがん生殖医療の提供を心がけております。例えば、ホルモン依存性乳癌の患者さんには、ホルモン値の上昇を抑制した卵巣刺激(排卵誘発)スケジュールで対応いたします。また、月経周期に捕らわれることなく原疾患の治療開始時期を優先した、ランダムスタート法や、短期間に2回の採卵を実施するDual Stimulation法を準備しております。

悪性疾患の診断告知直後の患者さんにおかれましては、将来の妊孕性にまで考えが及ばないことも少なくないと存じます。しかし後になって「聞いていなかった」ということがないように、実施するしないにかかわらず、まずはお話を聞いていただくだけでも構いません。ご依頼をいただければこちらでお話をさせていただきます。完全予約制ですのご予約の上、ご来院ください。がん生殖医療の患者さんには優先的に予約枠を確保させていただきます。ご担当の先生におかれましては、今後の治療スケジュール(生殖医療に許容できる期間を含めたご予約)を記載した診療情報提供書をご準備いただければと存じます。

スタッフ一同、悪性疾患と戦う患者さんたちの将来の妊孕性温存に向けて、真摯に対応をさせていただきます。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

がん生殖実績件数 (2019年)

未受精卵子凍結	0件 (未婚症例0件)	卵巣組織凍結	0件
胚凍結	8件	精子凍結	29件



リプロダクションセンター外来
産婦人科や泌尿器科とは別のフロアに設置された、
生殖医療専門の外来です。



暗証番号により施錠管理された凍結保管庫の液体窒素の
タンク内で、卵子や精子や胚たちは保管されています。
保管は1年毎の更新制です。

『がん生殖』ご予約方法のご案内

医療機関からのご予約・患者さんからのご予約のどちらも、03-3762-4151(代表番号)から、「リプロダクションセンター」をお呼び出し下さい。そして、「がん生殖希望」とお申し出ください。ご予約が先の日程にならないように優先させていただきます。

電話
受付時間

月～金 9:00～16:00
土曜日 9:00～13:00 ※第3除く

※時間帯によっては、お電話が繋がりにくくなっております、ご容赦願います。

memo



memo



memo



東邦大学医療センター大森病院
がんセンター年報 2019年版

発行日 2020年10月

発行者 東邦大学医療センター大森病院
がんセンター運営委員会

印刷者 イステムジャパン

